

耐震改修で蘇る 昭和初期の家

よみがえ

 中藏

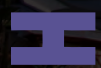
完成見学会

古家改修についてのセミナー 同時開催

京都市 北区 ※詳しい住所はご予約後にお伝えいたします。

2020年1月25日(土) 10:00~15:00

〈事前予約制〉075-841-0182 (月~土 8:00~17:00)

 中藏

株式会社 中藏

本社：〒604-8375 京都府京都市中京区西ノ京池ノ内町 24-12

御池事務所：〒604-8381 京都府京都市中京区西ノ京職司町 67-19

Eメール info@th-nakakura.co.jp

〔お電話でのお問合せ〕

075-841-0182 (月~土 8:00~19:00)

〔中藏の家ホームページ〕

<https://th-nakakura.co.jp/machiya/>



見た目は変えず、 基礎から構造躯体まで すべてを改修・補強。

「美しい町並みをいつまでも」をモットーに、京都に残る町家や日本家屋の佇まいをできるだけ後世に残していきたいと考える中蔵は、外観は変えずに耐震性能や断熱性能、内部の使いやすさなどを高める工夫をしています。

今回ご見学いただく建物も、経年変化により建物全体が歪んでいたため、全体をジャッキアップして基礎をつくり直し、また腐食のすすんでいた土台や柱も交換するなどの構造躯体の改修をおこなっています。また、風雨にさらされ続けた屋根や軒、雨樋なども新築当時の美しさを取り戻しています。



油圧式の制震ダンパーで 地震のエネルギーを消散、 建物の揺れを抑える。

躯体の改修に伴い、専門家の解析技術に基づいて、建物の要所の壁内に油圧式の制震ダンパーを複数配置しています。制震ダンパーは自動車のショックアブソーバーと同様に、オイルの粘性を利用して地震の揺れによる振動エネルギーを消散することで、建物の倒壊や損壊につながる揺れを抑えます。

古い建物は柱や壁の強度が十分でないことが多く、既存の構造躯体だけで一定の耐震性能をもたせるは難しいため、このような最新の技術を組み合わせることで地震に対する強さを高めることが重要です。



建具や欄間など これまで使っていたものを できるだけ継承する。

老朽化してしまう構造躯体に比べて、内装は継承できるものが数多くあります。なかでも、扉やふすま、窓などの建具や欄間などは、長いあいだ使われてきたからこそ味わいがあります。中蔵では、このような観点から、使えるものはできるだけ再利用するように心がけています。

「作り変えるところと、残すところ」、古家の改修にあたってもっとも頭を悩ませることについて、見学会と同時開催するセミナーではお話をさせていただく予定です。

ぜひ、ご予約の上、ご参加ください。

